

# 第 64 回放送番組審議会 議事録

日 時 令和 8 年 2 月 27 日 (金) 11:00~13:00

会 場 ミクスネットワーク 4F 会議室

出席委員 市橋章男・本田みさ江・木村康平 (代理:遠藤元志郎)・  
北村史子・萩原幸二 (代理:中根敏勝)・柏木典子  
(順不同/敬称略)

欠席委員 青山恵美子・長坂秀志・加藤富子・早川栄治 (代理:長井利恵)

事 務 局 ミクスネットワーク編成部/石川康雄・加藤理恵

## 進 行

### 1. あいさつ・委嘱状交付

はじめに吉田会長よりご参集頂いたお礼と挨拶が述べられ、森崎社長より委員を代表し市橋章男氏に委嘱状が交付された。

### 2. 現況報告

森崎社長より、当社事業の現況報告がされた。

当社は、オリバーが親会社だった、およそ 2 年前トヨタ自動車と中部電力からなる CNC I (コミュニティネットワークセンター) の子会社となった。豊田市の「ひまわりネットワーク」や刈谷市の「キャッチネットワーク」など県内有数の CATV 局があり当社もグループ入りさせていただき、今は CNC I と一緒に事業をさせていただいている。

当社としては、いかに加入者を増やしていくかが重要、グループ内の成功事例などを取り入れるなど積極的に事業に取り組んでいる。

岡崎市には 17 万 3000 世帯あり、その中で当社の接続世帯数は、現在 66600 世帯で接続率は 38.5% である。3 年後に接続率 40% 達成に向け取り組んでいる。

加入世帯は、テレビが約 34500 世帯、インターネットが約 29700 世帯、電話が約 18400 世帯で、着実に利用者数は増えている。

今後も利用者数を増やすには、やはりより良い番組を制作し、ご覧いただけるように、また見たいと思っていただけるようにしていくことが大事だと考えている。

そのために委員の皆様のご意見を取り入れさせていただき、より良い番組を制作してい

きたい。

最後に審議委員の皆様、この放送番組審議会では忌憚のないご意見をお願いしたいと挨拶した。

その後、市橋章男氏を会長に、柏木典子氏を副会長に選任し、議題に移った。

### 3. 議題

#### (1) 番組視聴

学芸員のまなざし“普通の街”の歴史遺産「常夜灯が照らす歴史と道」(1月12日～放送)

学芸員は博物館や美術館などで資料の収集・保管・展示・研究・教育活動を行う専門職で歴史・芸術・民俗・産業など多彩な研究をしている。この番組では学芸員の研究を通して岡崎の街の歴史・民俗を紹介している。

#### (2) 番組意見

市橋会長より、配布されている放送基準に目を通しつつ、規約内にのっとって、こういったところが優れているのか、改善点など意見を出し合いたいと提案された。

市橋会長は、秋葉信仰について、「あきは・あきば」と読み方が地域によって異なるが、結論的にはどちらでも問題ない。学術的には「あきは」となっているが、地域によっては「あきば」と読むこともある。今回は学芸員が「あきは」という読み方で進めていると話がされ、番組の意見を求めるにあたり、いくつかの視点が挙げられた。

- ① 番組制作の視点が、学芸員の視点ではなく視聴者の視点で作られている。  
街歩きで見られる「常夜灯」。そういった視点の作り方がどうだったか。
- ② 学芸員の湯谷さんは、広島大学の大学院をでて岡崎に勤められている。  
岡崎の地域の歴史についてすごく勉強されている方。  
民俗的というよりも、風土の中に入ってくるものに目を向けて研究されている。  
話の内容が、聞いていて分かりやすいものだったのかどうか、改善した方が良いのか。
- ③ 映像やカメラワークなどどうだったか。

#### 1)

- ① ミクスが地元で根差した歴史を紹介していてよいと思った。  
秋葉信仰について知ることができた。
- ② 岡崎がふるさとではないが、岡崎市を知りたいと思うことをテレビで答えてくれてとても良いと思った。

- ③ カメラワークについては、1点1点良かったが、地図が見つらい、どこをどう歩いたのかがわかりにくい。わかりやすい地図があれば自分も行ってみようとなる。

…確かに歩いているシーンは、地図でどこをどう歩いているのか示せると良いと思う。

2)

- ① 歴史的なことも勉強になったと。

岡崎生まれ、岡崎育ちでないけど、小さいころ秋葉山のお祭りをやっていたので何となく火の神様の…というイメージはあった。

町の中で、じっくり字を見たり気にしてすることはなかったが、自分が日々ウォーキングする中でも足を止めて、見たいと思った。

番組を通して、歴史はあまり詳しくないけど勉強してみたいと思った。

…秋葉山のお札など見たことありませんか？

見たことあるような気がする。お札を毎年替えている。

…町の消防など町の役員がお参りに行っている。

3)

- ① 防火の灯籠は見過ごしてきた。

実家が料理屋をやっていたことから、調理場に貼ってあった記憶があり、この番組を見て、全てが結びついた。

視聴者としては、見過ごしている部分が多くてよかった。再認識させてもらえる、とてもよい機会になった。また次が見たいと思った。

- ② 湯谷さんのお話がとても魅力的。情報として聞き取れる。建てられた年代や経緯、道とセットで紹介されていることもよく、随所に分かりやすいテロップ、記憶に残るテロップが沢山あってよかった。

- ③ 灯籠やお堂の場所を辿れるような地図が欲しい。

…どういう風に表現したら、視聴者に入っていくのか。

専門性のある言葉だけを羅列してしまうと見ている人には入ってこないが、湯谷さんはとても言葉を勉強されていてよいと思った。

4)

- ① 町内で3つお札を買って貼っている。

これらのお札は、町内の方からお参りに行って取ってきたものを配布されている。

秋葉さんの信仰については自分の住んでいるところにも根付いている。

- ② 籠田公園の常夜灯が南からどうして北側に移ったのか、気になっていたが分かってよかった。

常夜灯に刻まれた「杵本安全」を学芸員がその理由をわからないと紹介している部分が良かった。ぐっときた。

- ③ カメラワークは、テンポがよく映像に動きのある感じがとも良い。

動きの導線があってよかった。しかし地図はわからない。

地図がわかりやすいと良いと思った。

例えば、市民会館のどこにとか、何分間歩いてこれだけの常夜灯があったなど、まとめのコメントがあれば良いと思った。

せきれいホールのところにも碑があるのでそれ取り上げてほしい。

岡崎で活躍した方たちの碑がいろいろなところにあるのでそれも取り上げてほしい。

先人たちの思いが残されている部分を番組にしてもらえると良いと思った。

…番組内の常夜灯に書かれていた「杵本安全」は、地名の六供杵本のスギモトからきている。とても良いところに気づいてもらえている。

## 5)

- ① 中島町で生まれ育ち、子供のころから常夜灯は親の代わりに火をつけに行ったことがあった。

秋葉神社について小さい頃は意味が分からなかった。

総代会で浜松までお札を取りに行ったことはあったが、地域の中では普通にやっていることではあったが、これを秋葉信仰であったことなど知らなかった。

岡崎市内にどれくらいあるのか、こんなに種類があるとか、知らない人が多い。

今は電球でやっているところもあると思うが中島町では、まだ蝋燭でやっている。

- ② 今後シリーズで続くようであれば、どこにどの灯籠があって、信仰として何をしているのか、民俗・地域など携わる人も、新たに関わる人たちも番組を見て、今も受け継がれていることを見て知ることができるようにすると良いと思う。

- ③ 灯籠がどこにあるかは地域の人たちはわかるが、それ以外の人たちはわからないことが多いと思う。そういった意味でもどこにあるのかなど、地図で紹介する前に先に伝えるとわかりやすいと思う。

…いつぐらいから秋葉信仰といわれるようになったのか？

もともと伊勢の信仰は江戸時代からの進行。その昔は、白山信仰や熊野信仰があった。

秋葉信仰は江戸時代のど真ん中に始まった。それは平和の時代だからこそ始まった。  
人が人を殺めるような時代であればこんなことはできなかった。  
このようなことから秋葉信仰の中心地であった岡崎が平和の信仰であったことが分かる。  
ミクスを見ているお客様が見られるだけではなく、それ以外の人たちも見られる機会があると良いと思った。ネット社会である現代、もっと広げていけると良いと思った。

…皆様から貴重なご意見を頂戴し、視聴者が気軽に足を運べるような地図や位置関係をわかりやすく紹介していけるようにしたい。

また、地域でも秋葉信仰とはわからずに習わしとして受け継がれていることなど、実際に紹介することによって、常夜灯の歴史や信仰の部分を多くの人に知ってもらえたらと思う。

## 5. 閉 会

石川部長が今回参集して頂いたお礼と

積極的なご意見ご感想などに対する謝辞を伝え、放送番組審議会を終了した。

以上を明らかにするため、議事録を作成する。

令和8年2月27日

ミクスネットワーク株式会社 放送番組審議会  
会 長 市 橋 章 男

ミクスネットワーク株式会社  
代表取締役社長 森 崎 健 吾